

## 居安思危 ～避難訓練号～

居安思危 思則有備 有備無患

安きに居りて危うきを思う 思えばすなわち備えあり 備えあれば患い無し

(出典「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」)

災害に遭いたくないのはみんな同じですが、万が一、災害に遭ってしまったとしたら…。

災害時のことをイメージしておく、いざというときにパニックにならず、適切に自らの安全を確保できる行動を取ることができます。この通信の表題にある『居安思危』はみなさんの大先輩であり、大阪の防災を担うお仕事をされている吉村庄平さんに教えていただいた言葉です。2・3年生のみなさんは昨年秋の防災教育講演会でお話くださったので覚えていますよね。

災害時には間違った情報やデマに惑わされたり、正常性バイアスや多数派同調バイアス(\*)により、避難が遅れたり、危険が迫っているにもかかわらず避難しないことがあります。非常事態を乗り越え、命を守る行動を取るためには、**正しい情報**に基づき、すばやく**的確な判断**をし、それを**行動に移す**ことが大切です。危機状態でない今だからこそ、しっかりと防災の知識を蓄えて備えてください。(\*)正常性バイアスとは日々の生活を送る上で生じる様々な変化や新しい出来事に対して過剰に反応しないためにある心の防御機能ですが、非常時においては異常を異常と感じず、「大丈夫」「たいしたことはない」と感じてしまう認知のこと。多数派同調バイアスとは根拠もなくなんとなく大勢の人がすることが正しいとってしまうこと。

さて、行事月 5 月最後の行事が防災訓練 (27 日 (金)) です。今回の訓練では「火災」を想定し、火災発生時の避難を迅速かつ安全に行えるように、実際に指定された避難経路を用いてグラウンドに避難をしてもらいます。(雨天時は体育館への避難となります。) 小学校から何度も行われている避難訓練、なぜ何度も繰り返し訓練するのかわかりますか? 定期的に訓練を行うことで、非常時の行動を体で覚えて、災害に遭った時に「避難すること」をすぐに行動に移せるようにするためです。

「逃げる」ことは意外と難しいです。心理学の実験でも非常ベルが鳴っているにもかかわらず、すぐに「逃げた」人はほんの数人です。(特に大人になるほど逃げる割合が減ります。)

非常ベル＝「逃げる」をしっかりと体で覚えましょう。

27 日は 5 分短縮授業となります。5 限終了間際に非常ベルがなりますので、授業担当の先生の指示に従って、予め定められた経路を用いて避難をしてください。避難経路は教室によって使用する階段を指定しています。必ず前もって確認し、当日スムーズに避難できるように準備をしておいてください。避難経路図は各教室に掲示していますが、出火元がある 5 階の教室は避難経路が異なります。SHR で担任から連絡がありますので、間違えないように注意してください。

グラウンドに避難したら金蘭会館に向かって体育館側から 3 年 1→9 組、2 年 1→9 組、1 年 1→9 組の順に出席番号順に並び、集会委員はすぐに点呼を済ませて、異常の有無を担任に報告してください。点呼が完了し、全員(もちろん先生方も含んで)が無事に避難できたところで避難完了となります。目標時間は 8 分です。因みに昨年の避難完了までの所要時間は 9 分 24 秒でした。今年はぜひ 8 分台を目指しましょう!

# 火災発生時の対応



## ☆ 初期消火の3原則

出火の現場に居合わせたときには「通報」「初期消火」「避難」が大切です。小さな火でもひとりで消そうとせずに、大声で周囲に協力を求め、複数で消火活動を行い、消防署への通報も忘れずに行ってください。

## ☆ 「119」のかけ方を覚えておこう

通報時には ①火災であること、②現場の場所、③燃えているもの、④けが人や逃げ遅れている人の有無、⑤かけている電話番号、⑥通報者の名前 を伝えましょう。携帯電話での通話は災害地点を確認するのに時間がかかることがあります。固定電話があるなら、そちらを優先しましょう。

## ☆ 消火器の使い方を知っておこう

学校の消火器の場所は知っていますか？各階の廊下や特別教室などに設置されています。一度確認しておくとう安心ですね。消火器が必要なときには安全ピンを抜かずに運びます。現場に到着したら安全ピンを抜いて、ホースを火元に向け、レバーを強く握って噴射してください。通常の消火器の放射時間は 15 秒前後です。また放射距離は 3～5m です。



## ☆ 本当に恐ろしいのは・・・煙です！

火災に出遭ったときに一番恐ろしいのは火ではなく実は煙です。煙は一酸化炭素などの有毒ガスを含んでいるため吸い込むと中毒などにより命を落とす危険があります。万が一火災に巻き込まれたときには下記のポイントに気をつけながら避難してください。(実際にやってみることで体が覚えていくので、今回の避難訓練のときに実践してみてくださいね。)

- ◆ 濡らしたタオルやハンカチなどで口と鼻を覆う。  
(手近にないときには衣服などで代用を)
- ◆ できるだけ姿勢を低くする。
- ◆ 階段では這ったまま後ろ向きに下りる。
- ◆ 短い距離なら息を止めて一気に走りぬける。
- ◆ 視界が悪いときには壁伝いに避難する。

### 煙の流れ

煙は火災の熱により空気より軽くなり上昇し、天井までのぼると横に広がります。量が増えると、床近くまで下がってきます。床などを水平に広がる煙は、火元から遠ざかると冷却され、重くなり下降し、視界を遮るようになります。

## ☆ 避難の手がかりを確認しよう

避難口誘導灯は、階段などから安全に避難できる場所や、屋外につながる扉の上部に設けられています。通路誘導灯は避難口につながる廊下、通路に設けられています。不特定多数の人が出入りする建物には必ず設置されていますので、建物に入ったときには誘導灯を確認する習慣をつけてください。



避難口誘導灯



通路誘導灯